

能代市まち・ひと・しごと創生総合戦略

数値目標・重要業績評価指標(KPI)の達成状況

能代市 企画部 総合政策課

平成30年11月

目 次

基本目標 1 地域における安定したしごとの創出

(1) 地域産業の活性化の推進	1
(ア) 新エネルギー等関連産業の創出	
(ア) 関連産業の創出と育成	
(イ) 水素エネルギーの研究	
(イ) 企業誘致及び企業活動への支援等	
(ア) 企業誘致の推進	
(イ) 能代港の利活用促進	
(ウ) 商工業の振興	
(ア) 既存企業の維持拡大	
(イ) まちのにぎわいの創出	
(イ) 起業等の促進	
(イ) 人材の確保・就職支援	
(エ) 農業の振興	
(ア) 野菜ランド能代の推進	
(イ) 水田農業の再構築	
(イ) 農産物の高付加価値化と流通販売の促進	
(イ) 担い手育成と新規就農者の促進	
(オ) 林業、木材産業の振興	
(ア) 木の良さを生かし多様なニーズに対応した林業・木材産業の確立	
(イ) 林業生産の効率化	
(イ) 地場産材の消費拡大	
(2) 地域資源の活用を中心とした交流人口の拡大	7
(ア) 市内外への魅力のPR	
(イ) 地域資源の磨き上げと掘り起こし及びその利用	
(ウ) 交流が広がるイベントや行事への支援	

基本目標 2 少子化対策

(1) 脱少子化に向けた市民意識の醸成	9
(ア) 結婚、出産、子育てに関する意識の醸成	
(2) 結婚・妊娠・出産・子育ての総合的な支援の充実・強化	10
(ア) 出会いの機会の提供	
(イ) 安心して出産・子育てできる環境の充実	
(ア) 不妊治療等に対する支援の推進	
(イ) 子どもを生み育てるサポート体制の充実	
(ウ) 子育て世帯の経済的負担の軽減	
(エ) 子育てと仕事の両立支援	
(ア) 安心して預けられる保育環境の整備	
(イ) 企業等による子育て支援の促進	
(オ) 子育てを地域で支援する仕組みづくり	
(3) 次代を担う子どもの成長支援	12
(ア) きめ細かな教育の推進	
(ア) ふるさと教育の推進	
(イ) 多様なニーズに対応した教育の推進	

基本目標 3 移住・定住対策

(1) 首都圏等からの移住の促進	14
(ア) 地域の情報発信と受け入れ体制の整備	
(α) 移住情報の発信と収集	
(β) 移住者の受け入れ体制整備	
(イ) 多様なニーズに対応した移住促進	
(ウ) 本市出身者のＵターンの促進	
(2) 若者の定住の促進	15
(ア) 高校卒業者等の定住及び大学卒業者等のＵターンの促進	
(3) 地元への愛着をはぐくむ	15
(ア) 子どもたちによるふるさとの発見	
(イ) シティセールスによる市の魅力再発見	
(ウ) 特色あるまちづくり	

基本目標 4 新たな地域社会の形成

(1) 広域的な視点での地域社会の形成	17
(ア) 能代山本地域の連携	
(2) 地域社会の維持・活性化	17
(ア) 地域コミュニティの維持	
(α) 自治会等への支援	
(β) 地域づくりの促進	
(イ) 防災への対応強化	
(ウ) 地域公共交通の維持・確保	
(エ) 若者、女性、高齢者の活躍支援	
(α) 若者の活躍支援	
(β) 女性が活躍できる環境づくり	
(γ) 健康で元気な高齢者の活躍促進	
(3) 安全・安心な暮らしを守る環境づくり	20
(ア) 既存インフラのマネジメント強化	

数値目標・重要業績評価指標(KPI)達成状況集計表

基本目標		27年度	28年度		29年度	
				前年比		前年比
1 地域における安定したしごとの創出	順 調	19	19	0	20	1
	横ばい	6	6	0	5	▲ 1
	不 調	5	4	▲ 1	4	0
	その他	0	1	1	1	0
2 少子化対策	順 調	9	8	▲ 1	7	▲ 1
	横ばい	4	8	4	9	1
	不 調	1	0	▲ 1	0	0
	その他	2	0	▲ 2	0	0
3 移住・定住対策	順 調	9	6	▲ 3	6	0
	横ばい	2	5	3	5	0
	不 調	1	1	0	1	0
	その他	0	0	0	0	0
4 新たな地域社会の形成	順 調	7	9	2	10	1
	横ばい	9	5	▲ 4	5	0
	不 調	0	3	3	2	▲ 1
	その他	1	0	▲ 1	0	0
合 計	順 調	44	42	▲ 2	43	1
	横ばい	21	24	3	24	0
	不 調	7	8	1	7	▲ 1
	その他	3	1	▲ 2	1	0
	計	75	75	0	75	0
重複している指標	順 調	4	3	▲ 1	2	▲ 1
	横ばい	0	2	2	3	1
	不 調	0	0	0	0	0
	その他	1	0	▲ 1	0	0
	計	5	5	0	5	0
実 数	順 調	40	39	▲ 1	41	2
	横ばい	21	22	1	21	▲ 1
	不 調	7	8	1	7	▲ 1
	その他	2	1	▲ 1	1	0
	計	70	70	0	70	0

※27年度の「その他」は、28年度から集計を開始したため「未確定」とした項目。
28～29年度の「その他」は、基礎データの変更により基準値との比較ができなくなり、「評価不能」とした項目。

基本目標1 地域における安定したしごとの創出

数値目標	(1)市の施策に関する雇用創出数（5カ年累計）							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	—	35	69	109			87	人
								達成状況
推移の分析・考えられる要因 雇用奨励措置の対象となった新設・増設企業数が29年度までに8社あり、28人の新規雇用があったほか、創業者が25人、新規就農者が56人であったことから、市の施策に関する雇用創出数は計109人となった。								順調 (^_^)

(1)地域産業の活性化の推進

(ア)新エネルギー等関連産業の創出

(a)関連産業の創出と育成

KPI	(2)再生可能エネルギー自給率							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	7.0	7.2	8.1	13.3			19.0	%
								達成状況
推移の分析・考えられる要因 28年中に設置された風力発電所が順調に稼働し、新たに太陽光発電所が稼働を開始した。								順調 (^_^)

KPI	(3)風力発電による導入量							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	19,580	23,560	62,660	62,660			117,000	kW
								達成状況
推移の分析・考えられる要因 能代港における港湾区域内の洋上風力発電事業の商業運転開始による増加を見込んでいたが、同事業は国内で最も先行する事例のため、想定外の課題解決が必要となり、現状では33年以降の稼働を予定している。								横ばい (-_-)

(b)水素エネルギーの研究

KPI	(4)戦略期間内での研究会等の設置							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	—	—	1	1			1	件
								達成状況
推移の分析・考えられる要因 28年度に水素エネルギーに関する研究のため、能代市次世代エネルギー研究会に水素エネルギー研究部会を設けた。								順調 (^_^)

基本目標1 地域における安定したしごとの創出

(イ)企業誘致及び企業活動への支援等

(a)企業誘致の推進

KPI	(5)新設、増設企業数（5カ年累計）							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	—	2	4	8			5	件
								達成状況
推移の分析・考えられる要因 市内企業の増設が4件みられた。								順調 (^~^)

(b)能代港の利活用促進

KPI	(6)能代港の取扱い貨物量(能代火力発電所専用棧橋を除く)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	397,621	353,655	307,162	342,566			571,000	トン
								達成状況
推移の分析・考えられる要因 風力発電機、火力3号機関連部材の荷揚量が増加した。								横ばい (-_-)

(ウ)商工業の振興

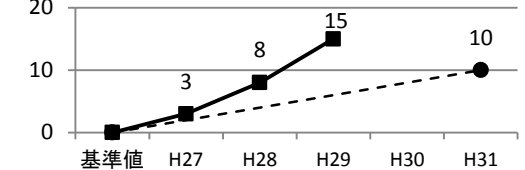
(a)既存企業の維持拡大

KPI	(7)中小企業融資あっせん制度利用件数（5カ年累計）							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	—	221	459	686			1,000	件
								達成状況
推移の分析・考えられる要因 融資利率の引き下げ等により利用件数は順調に推移している。								順調 (^~^)

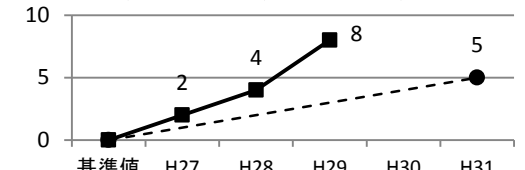
(b)まちのにぎわいの創出

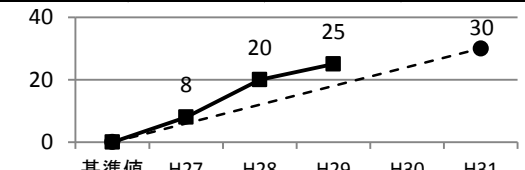
KPI	(8)歩行者、自転車通行量							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	3,936	3,967	3,579	3,594			5,218	人
								達成状況
推移の分析・考えられる要因 金融機関や高校の統合による移転等の結果、通行量は減少傾向にある。								横ばい (-_-)

基本目標1 地域における安定したしごとの創出

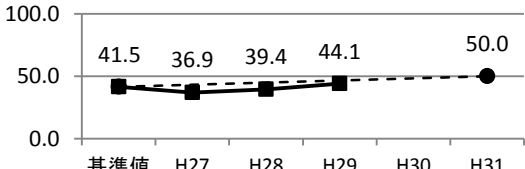
KPI	(9) 空き店舗の利活用件数 (5カ年累計)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	—	3	8	15			10	件
								達成状況
推移の分析・考えられる要因 新規創業者向けの各種支援制度との制度間連携により、利活用件数が増加した。								順調 (^~^)

(c) 起業等の促進

KPI	(5) 新設、増設企業数 (5カ年累計) (再掲)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	—	2	4	8			5	件
								達成状況
推移の分析・考えられる要因 市内企業の増設が4件みられた。								順調 (^~^)

KPI	(10) 創業者数 (5カ年累計)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	—	8	20	25			30	人
								達成状況
推移の分析・考えられる要因 無料相談窓口の利用者や創業塾受講者が創業に結びつくケースが増加した。								順調 (^~^)

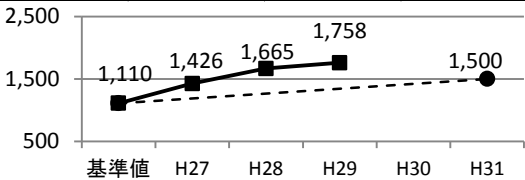
(d) 人材の確保・就職支援

KPI	(11) 新規学校卒業者就職率(能代山本)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	41.5	36.9	39.4	44.1			50.0	%
								達成状況
推移の分析・考えられる要因 市内企業の早期からの積極的な募集活動、企業PR事業やデュアルシステムによる就労体験などにより地元就職の意識が高まったと考えられる。								順調 (^~^)

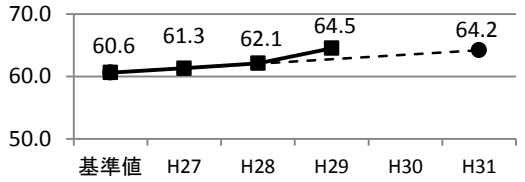
基本目標1 地域における安定したしごとの創出

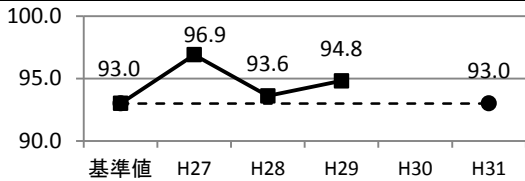
(エ) 農業の振興

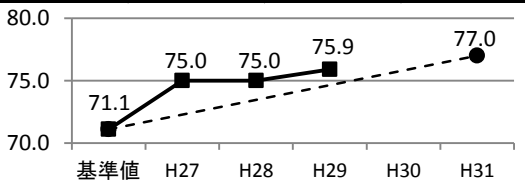
(a) 野菜ランド能代の推進

KPI	(12) 戦略作目5品目の生産出荷額							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	1,110	1,426	1,665	1,758			1,500	百万円
								達成状況
推移の分析・考えられる要因 天候等により変動があるが、ネギを中心に出荷数量が増加し、単価も堅調に推移したことから増加した。また、農産物の消費拡大のため、トップセールスやイベントでのPR活動等により有利販売に努めている。								順調 (^~^)

(b) 水田農業の再構築

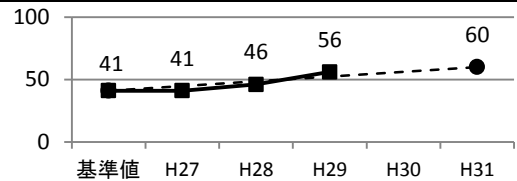
KPI	(13) 30a以上区画のほ場整備率							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	60.6	61.3	62.1	64.5			64.2	%
								達成状況
推移の分析・考えられる要因 ほ場整備事業(区画整理)が順調に進められている。								順調 (^~^)

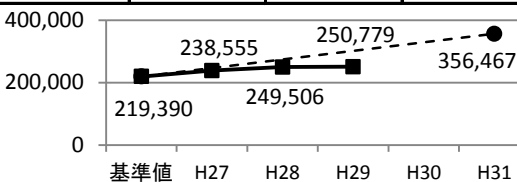
KPI	(14) 一等米比率							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	93.0	96.9	93.6	94.8			93.0	%
								達成状況
推移の分析・考えられる要因 登熟期以降の低温・日照不足により収量は前年より低かったものの、カメムシ類の効果的防除により斑点米が減少し、比率が微増した。								順調 (^~^)

KPI	(15) 食味値							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	71.1	75.0	75.0	75.9			77.0	
								達成状況
推移の分析・考えられる要因 農家の適正な堆肥管理がなされたものと考えられる。								順調 (^~^)

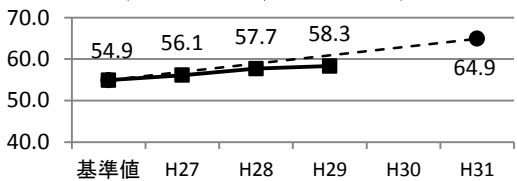
基本目標1 地域における安定したしごとの創出

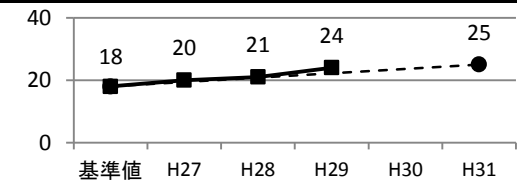
(c) 農産物の高付加価値化と流通販売の促進

KPI	(16) 地産地消協力店数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	41	41	46	56			60	店
								達成状況
推移の分析・考えられる要因 市ホームページや全国ねぎサミットでのPRのほか、地産地消協力店マップの作成・配布により周知が図られ、順調に新規店舗が増加している。								順調 (^~^)

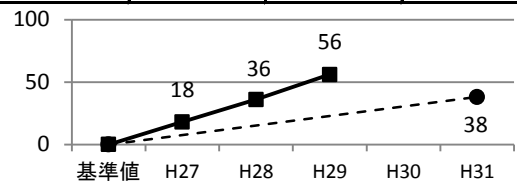
KPI	(17) 農産物直売所の売上げ							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	219,390	238,555	249,506	250,779			356,467	千円
								達成状況
推移の分析・考えられる要因 各直売所ごとに工夫し、目標に向かって順調に推移している。								順調 (^~^)

(d) 担い手育成と新規就農者の促進

KPI	(18) 担い手農地集積率(個人・集団を含む)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
25年度	54.9	56.1	57.7	58.3			64.9	%
								達成状況
推移の分析・考えられる要因 担い手増加により、農地の集積率が増加した。								順調 (^~^)

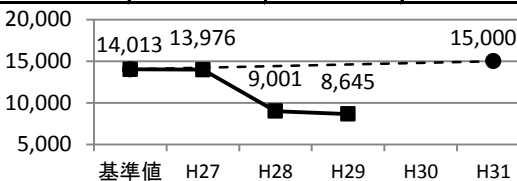
KPI	(19) 農業経営法人数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年	18	20	21	24			25	法人
								達成状況
推移の分析・考えられる要因 ほ場整備実施に伴い法人が新設された。								順調 (^~^)

基本目標1 地域における安定したしごとの創出

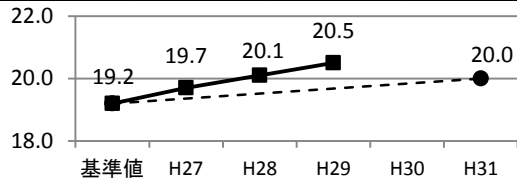
KPI	(20)新規就農者数（5カ年累計）							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	—	18	36	56			38	人
								達成状況
推移の分析・考えられる要因 国の「農の雇用事業」の活用や、「次世代人材投資事業」の活用等により、新規就農者数が増えたと考えられる。								順調 (^~^)

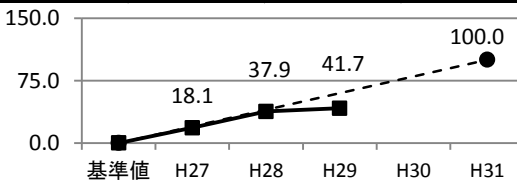
(オ)林業、木材産業の振興

(a)木の良さを生かし多様なニーズに対応した林業・木材産業の確立

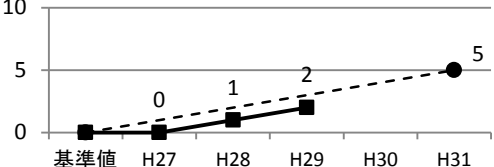
KPI	(21)木材製品出荷額							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
25年度	14,013	13,976	9,001	8,645			15,000	百万円
								達成状況
推移の分析・考えられる要因 消費増税の駆け込み需要も一段落し、全体的に生産を調整する傾向となったことに加え、大手木材関連事業所の撤退等が影響している。								不調 (>_<)

(b)林業生産の効率化

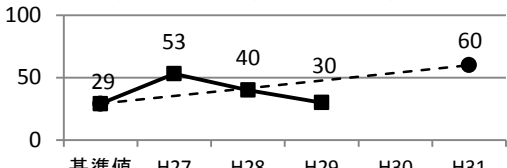
KPI	(22)林内道路密度							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
25年度	19.2	19.7	20.1	20.5			20.0	m/ha
								達成状況
推移の分析・考えられる要因 林業専用道の開設により、順調に推移している。								順調 (^~^)

KPI	(23)皆伐後の植栽面積							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	—	18.1	37.9	41.7			100.0	ha
								達成状況
推移の分析・考えられる要因 森林所有者の高齢化や、木材価格の下落により、伐採しても再造林するだけの収益が見込めないため、年平均20haを下回っている。 (H27:18.1ha、H28:19.8ha、H29:3.8ha)								横ばい (-_-)

基本目標1 地域における安定したしごとの創出

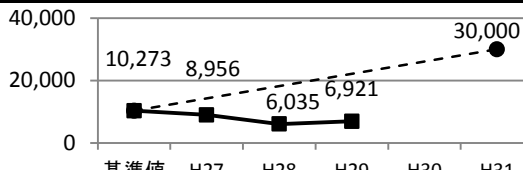
KPI	(24)秋田林業大学校本市出身研修生（5カ年累計）							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	—	—	1	2			5	人
				推移の分析・考えられる要因			達成状況	
毎年1名超の入校を目指して補助制度をPRしていく。 (H28:1人、H29:1人)							順調 (^~^)	

(c)地場産材の消費拡大

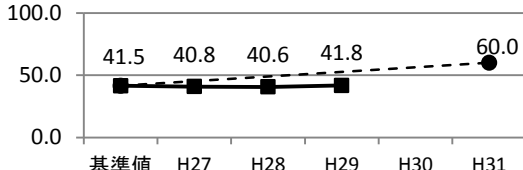
KPI									(25)木のまちづくり推進事業利用件数	
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位		
26年度	29	53	40	30			60	件		
				推移の分析・考えられる要因				達成状況		
				27年度は消費増税の駆け込み需要の影響から前年を大幅に上回ったが、以降は新規住宅着工件数の低迷と共に減少している。				不調 (>_<)		

(2)地域資源の活用を中心とした交流人口の拡大

(ア)市内外への魅力のPR

KPI	(26)能代市の観光・物産・宿泊・交通情報に関するホームページへのアクセス数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	10,273	8,956	6,035	6,921			30,000	件
				推移の分析・考えられる要因			達成状況	
				さまざまな情報収集手段が普及しており、公的機関が発信する情報に頼る必要性が薄くなっていることが一因と考えられる。			不調 (>_<)	

(イ)地域資源の磨き上げと掘り起こし及びその利活用

KPI	(27)豊かな自然や特色ある郷土料理など、他に誇れる観光資源があると思う市民の割合							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	41.5	40.8	40.6	41.8			60.0	%
				推移の分析・考えられる要因			達成状況	
				白神山地の眺望、風の松原、米代川、きみまち坂などの豊かな自然は、市民にとって日常の中に溶け込んでおり、観光資源という意識が希薄化していると考えられる。また、ハタハタ、きりたんぼ・だまご鍋などの郷土料理も同様に、特別意識されていないと考えられる。			横ばい (-_-)	

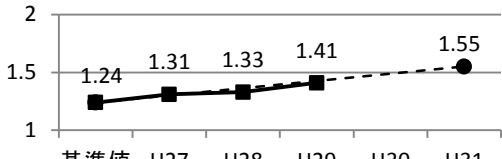
基本目標1 地域における安定したしごとの創出

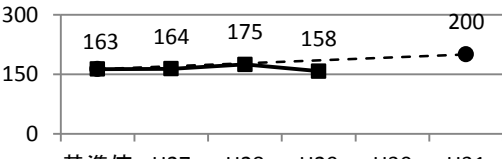
KPI	(28) 滞在人口率の県内順位(休日)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年	15	17					11	位
								達成状況
推移の分析・考えられる要因								評価 不能

(ウ) 交流が広がるイベントや行事への支援

KPI	(29) 観光客入込客数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	1,741,141	1,656,159	1,564,437	1,497,605			1,800,000	人
								達成状況
推移の分析・考えられる要因 全国ねぎサミットやねんりんピックなどの新規イベントもあったが、多くの継続イベントで前年を下回っている。								不調 (>_<)

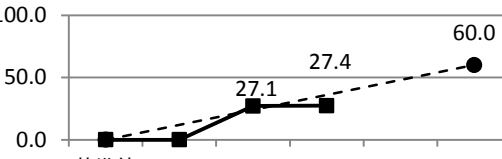
基本目標2 少子化対策

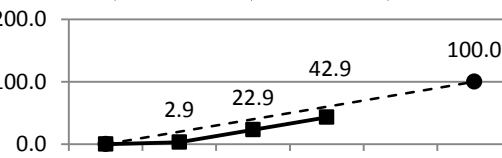
数値目標 (30)合計特殊出生率								
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
25年度	1.24	1.31	1.33	1.41			1.55	—
				推移の分析・考えられる要因			達成状況	
				20歳前半の階層で出生数が増加したことから上昇した。			順調 (^-^)	

数値目標		(31)婚姻数						
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
25年度	163	164	175	158			200	件
				推移の分析・考えられる要因			達成状況	
				秋田県全体では年々減少傾向にある中で、本市では微増の傾向にあったが、未婚化や晩婚化の影響から減少したと考えられる。			横ばい (-_-)	

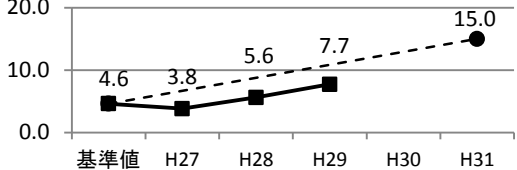
(1)脱少子化に向けた市民意識の醸成

(ア)結婚、出産、子育てに関する意識の醸成

KPI	(32)子どもを生み、育てやすいと感じる市民の割合							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	—	—	27.1	27.4			60.0	%
				推移の分析・考えられる要因			達成状況	
				妊娠期から子育て期までを切れ目なく支援するため、母子保健事業や子育て支援センター事業等を実施しているが、まだ十分浸透しきれていないと考えられる。			横ばい (-_-)	

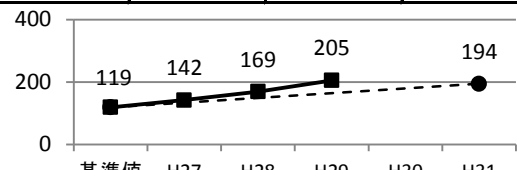
KPI	(33)家庭教育支援事業等への中・高校生の参加割合(中学生) (5力年累計)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	—	2.9	22.9	42.9			100.0	%
				推移の分析・考えられる要因			達成状況	
				各校の取組が定着してきていると考えられる。 27年度→1校1学年 28年度→5校7学年 29年度→6校7学年			順調 (^~^)	

基本目標2 少子化対策

KPI	(33) 家庭教育支援事業等への中・高校生の参加割合(高校生)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	4.6	3.8	5.6	7.7			15.0	%
								達成状況
推移の分析・考えられる要因 各高校において、事業への取組が定着してきていると考えられる。								順調 (^~^)

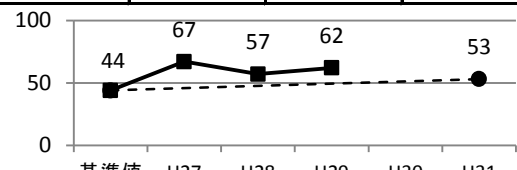
(2) 結婚・妊娠・出産・子育ての総合的な支援の充実・強化

(ア) 出会いの機会の提供

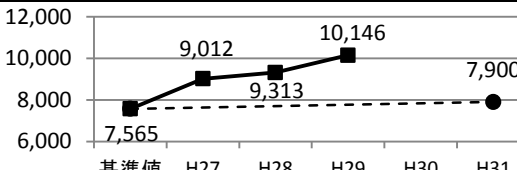
KPI	(34) あきた結婚支援センター入会者数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	119	142	169	205			194	人
								達成状況
推移の分析・考えられる要因 29年度入会者36人中34人が入会登録料助成を受けており、制度が定着してきたことと、10月からの出張センター開設が入会者の増加につながったものと思われる。								順調 (^~^)

(イ) 安心して出産・子育てできる環境の充実

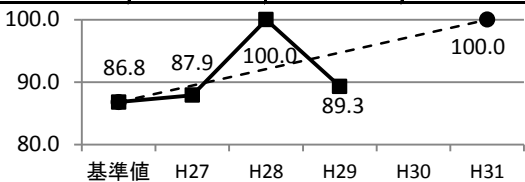
(a) 不妊治療等に対する支援の推進

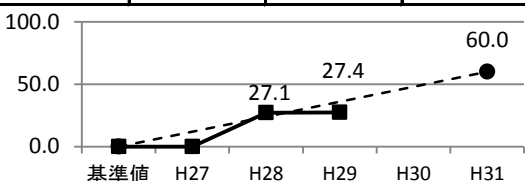
KPI	(35) 不妊治療費助成制度利用件数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	44	67	57	62			53	件
								達成状況
推移の分析・考えられる要因 不妊治療への理解・周知が進んだことや医療機関の周知の協力が得られたことにより、件数が増えた。								順調 (^~^)

(b) 子どもを生み育てるサポート体制の充実

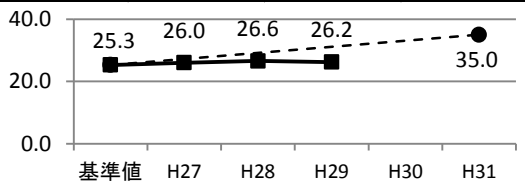
KPI	(36) 子育て支援センター利用者数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	7,565	9,012	9,313	10,146			7,900	人
								達成状況
推移の分析・考えられる要因 センター開放日の利用者が増えていることから、定期的にセンターを利用する方が増えていると思われる。								順調 (^~^)

基本目標2 少子化対策

KPI	(37) 妊婦一般健康診査受診率							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	86.8	87.9	100.0	89.3			100.0	%
								達成状況
推移の分析・考えられる要因 転出・流産等に伴う減少であり、実質的な健診未受診者は1名であった。								横ばい (--)

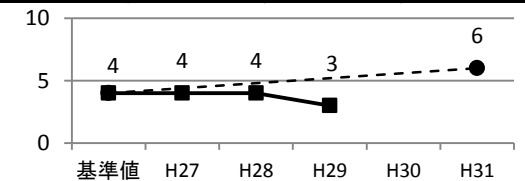
KPI	(32) 子どもを生み、育てやすいと感じる市民の割合（再掲）							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	—	—	27.1	27.4			60.0	%
								達成状況
推移の分析・考えられる要因 妊娠期から子育て期までを切れ目なく支援するため、母子保健事業や子育て支援センター事業等を実施しているが、まだ十分浸透しきれていないと考えられる。								横ばい (--)

(ウ) 子育て世帯の経済的負担の軽減

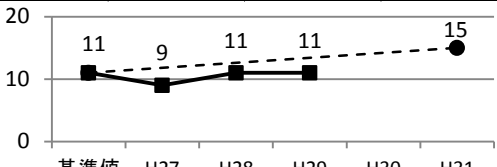
KPI	(38) 子育てを地域で支えあう雰囲気があると思う市民の割合							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	25.3	26.0	26.6	26.2			35.0	%
								達成状況
推移の分析・考えられる要因 保育所、子育て支援センターなどが実施している子育て支援事業や「めんChoco事業」等により地域で支えあう雰囲気が徐々に浸透してきていると思われるが、数値は伸びていない。								横ばい (--)

(エ) 子育てと仕事の両立支援

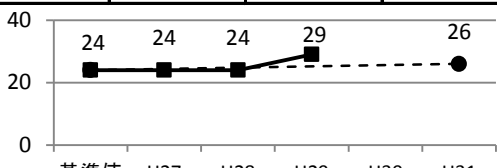
(a) 安心して預けられる保育環境の整備

KPI	(39) 病児・病後児保育事業実施施設数(保育所等)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	4	4	4	3			6	施設
								達成状況
推移の分析・考えられる要因 事業実施に必要な看護師の確保が難しく、1減となった。								横ばい (--)

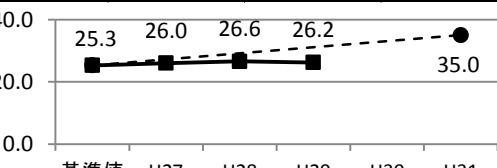
基本目標2 少子化対策

KPI	(40)放課後児童クラブ(留守家庭児童会)のクラス数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	11	9	11	11			15	クラス
								達成状況
推移の分析・考えられる要因 30年度の新設に向け、3クラスの施設整備を行っている。								横ばい (-)

(b)企業等による子育て支援の促進

KPI	(41)次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定件数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	24	24	24	29			26	社
								達成状況
推移の分析・考えられる要因 策定義務のある従業員数101人以上の企業の策定率は100%となっている。人材確保が難しい中で、企業のイメージアップにもつながることから、努力義務である100人以下の企業においても策定が進んでいると考えられる。								順調 (^_^)

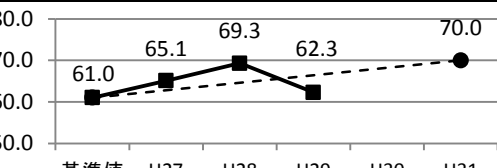
(オ)子育てを地域で支援する仕組みづくり

KPI	(38)子育てを地域で支えあう雰囲気があると思う市民の割合 (再掲)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	25.3	26.0	26.6	26.2			35.0	%
								達成状況
推移の分析・考えられる要因 保育所、子育て支援センターなどが実施している子育て支援事業や「めんChoco事業」等により地域で支えあう雰囲気が徐々に浸透してきていると思われるが、数値は伸びていない。								横ばい (-)

(3)次代を担う子どもの成長支援

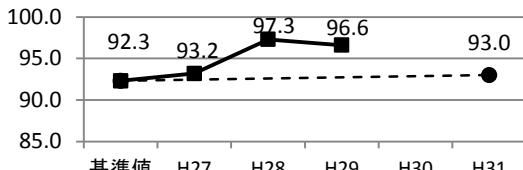
(ア)きめ細かな教育の推進

(a)ふるさと教育の推進

KPI	(42)地域の行事に参加している児童・生徒の割合							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	61.0	65.1	69.3	62.3			70.0	%
								達成状況
推移の分析・考えられる要因 小学校、中学校ともにふるさと教育やキャリア教育など地域と関わる活動を充実させていることにより、6割以上の参加が維持されていると考えられる。								横ばい (-)

基本目標2 少子化対策

(b) 多様なニーズに対応した教育の推進

KPI	(43)5歳児親子相談参加率							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	92.3	93.2	97.3	96.6			93.0	%
				推移の分析・考えられる要因			達成状況	
				25年から事業を開始し、次第に保護者や市内保育所・幼稚園等に、事業の趣旨や重要性が理解されてきたことが増加の要因と考えられる。			順調 (^-^)	

基本目標3 移住・定住対策

数値目標	(44)市からの転出、転入増減数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年	△ 292	△ 175	△ 279	△ 238			△ 120	人
								推移の分析・考えられる要因
転入者は横ばいで推移しているが、依然として転出者が大きく上回っている。5歳階層別では、20～24歳の階層で転出者が多くなる傾向が見られる。 (29年 転入1,256人 転出1,494人)								達成状況
								不調 (>_<)

(1)首都圏等からの移住の促進

(ア)地域の情報発信と受け入れ体制の整備

(a)移住情報の発信と収集

KPI	(45)移住相談件数 (5力年累計)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	—	31	85	185			350	件
								推移の分析・考えられる要因
首都圏相談会への参加機会の増加と移住支援を行っていることが移住希望者・市民に浸透したことによる増加と思われる。								達成状況
								順調 (^_^)

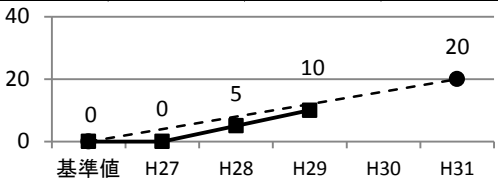
(b)移住者の受け入れ体制整備

KPI	(46)市への相談を経て移住した世帯数 (5力年累計)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	—	2	8	23			15	世帯
								推移の分析・考えられる要因
首都圏相談会への参加機会の増加と移住支援を行っていることが移住希望者・市民に浸透したことによる増加と思われる。								達成状況
								順調 (^_^)

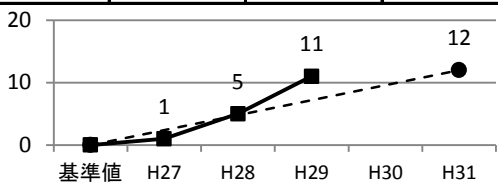
(イ)多様なニーズに対応した移住促進

KPI	(20)新規就農者数 (5力年累計) (再掲)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	—	18	36	56			38	人
								推移の分析・考えられる要因
国の「農の雇用事業」の活用や、「次世代人材投資事業」の活用等により、新規就農者数が増えたと考えられる。								達成状況
								順調 (^_^)

基本目標3 移住・定住対策

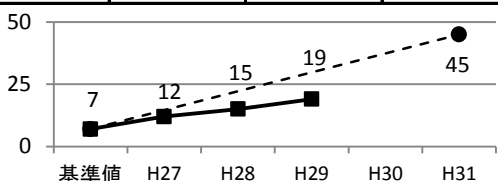
KPI	(47)移住体験参加世帯数（5カ年累計）							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	0	—	5	10			20	世帯
								達成状況
推移の分析・考えられる要因 首都圏等での移住相談会への参加等、積極的な事業周知により増加したと考えられる。								順調 (^~^)

(ウ)本市出身者のUターンの促進

KPI	(48)移住相談件数のうちUターンした世帯数（5カ年累計）							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	—	1	5	11			12	世帯
								達成状況
推移の分析・考えられる要因 首都圏相談会への参加機会の増加と移住支援を行っていることが移住希望者・市民に浸透したことによる増加と思われる。								順調 (^~^)

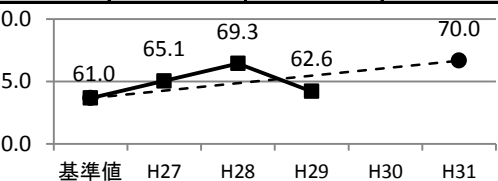
(2)若者の定住の促進

(ア)高校卒業生等の定住及び大学卒業生等のUターンの促進

KPI	(49)市内居住による奨学金の返還支援件数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	7	12	15	19			45	人
								達成状況
推移の分析・考えられる要因 返還対象者、減免対象者とも増加しており、制度周知の効果が徐々に出てきていると考えられる。								横ばい (-_-)

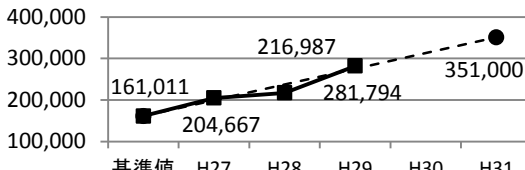
(3)地元への愛着をはぐくむ

(ア)子どもたちによるふるさと発見

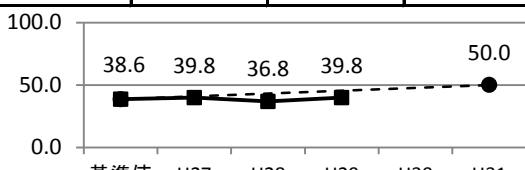
KPI	(42)地域の行事に参加している児童・生徒の割合（再掲）							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	61.0	65.1	69.3	62.6			70.0	%
								達成状況
推移の分析・考えられる要因 小学校、中学校ともにふるさと教育やキャリア教育など地域と関わる活動を充実させていることにより、6割以上の参加が維持されていると考えられる。								横ばい (-_-)

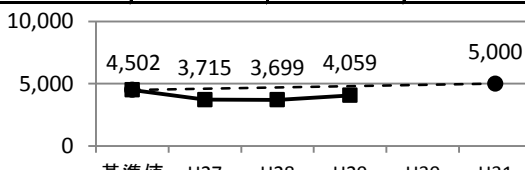
基本目標3 移住・定住対策

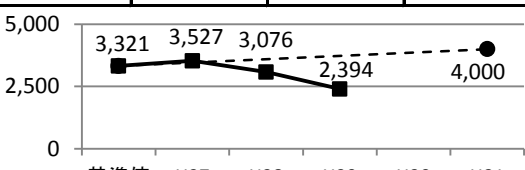
(イ)シティセールスによる市の魅力再発見

KPI	(50)市ホームページモバイルアクセス数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年	161,011	204,667	216,987	281,794			351,000	件
				推移の分析・考えられる要因			達成状況	
				28年度にスマートフォン対応の改修を行ったことで利便性が向上したことが要因と考えられる。			順調 (^~^)	

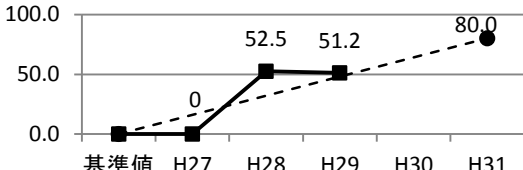
(ウ)特色あるまちづくり

KPI	(51)バスケの街を他に誇れると思う市民の割合							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	38.6	39.8	36.8	39.8			50.0	%
				推移の分析・考えられる要因			達成状況	
				「能代市バスケの街づくり推進計画」を24年度からスタートし、各種取組を進めており、対外的には「バスケが強い高校がある街」としてイメージが普及しているが、市民意識の面では、能代工業高校バスケットボール部の活躍も影響し、日々の生活の中でバスケに関する情報(景観含めて)に触れる機会が減少していることが要因ではないかと思われる。			横ばい (-_-)	

KPI	(52)能代バスケミュージアム来館者数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	4,502	3,715	3,699	4,059			5,000	人
10,000 5,000 0  基準値 H27 H28 H29 H30 H31				推移の分析・考えられる要因			達成状況	
				企画展での来場者が多く、前年を上回った。			横ばい (-_-)	

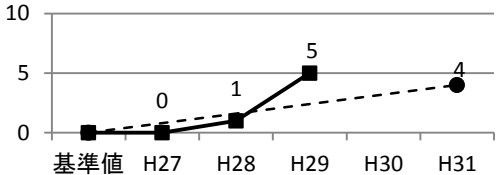
KPI	(53)のしろ銀河フェスティバル来場者数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
25年度	3,321	3,527	3,076	2,394			4,000	人
				推移の分析・考えられる要因			達成状況	
				28年度は2日開催であったが、29年度は1日開催で期間が短くなったことが影響した。			横ばい (-_-)	

基本目標4 新たな地域社会の形成

数値目標	(54)このまちが住みやすいと感じる市民の割合							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	—	—	52.5	51.2			80.0	%
				推移の分析・考えられる要因			達成状況	
				総合戦略策定時の20～49歳2000人を対象としたアンケートでは、65.3%が住みやすいまたはまあまあ住みやすいという結果であったが、対象年齢がより広い(18歳以上)市民意識調査では数値が伸びていない。			横ばい (-)	

(1) 広域的な視点での地域社会の形成

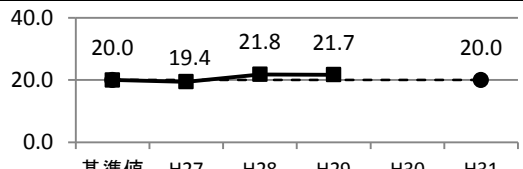
(ア) 能代山本地域の連携

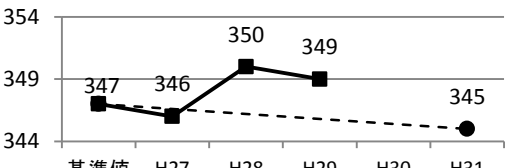
KPI	(55)市と近隣町が新たに行う連携事業数（5カ年累計）							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	—	—	1	5			4	事業
				推移の分析・考えられる要因			達成状況	
				能代山本定住自立圏において、連携した取り組みを進めている。 ・広域観光推進事業 ・大館能代空港利用促進助成金 ・新たな雇用奨励制度の創設 ・出会い創出事業のPR連携			順調 (^~^)	

(2) 地域社会の維持・活性化

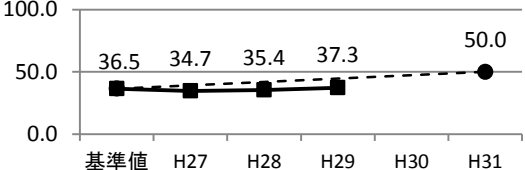
(ア) 地域コミュニティの維持

(a) 自治会等への支援

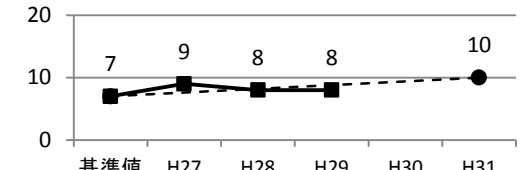
KPI	(56) 公民館等利用者割合							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	20.0	19.4	21.8	21.7			20.0	%
				推移の分析・考えられる要因			達成状況	
通常利用や公民館祭等催事への参加が安定的にあり、前年度の割合を維持している。							順調 (^~^)	

KPI	(57) 自治会・町内会数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	347	346	350	349			345	
				推移の分析・考えられる要因			達成状況	
				下前田住宅の閉鎖に伴い、1減となった。			順調 (^-^)	

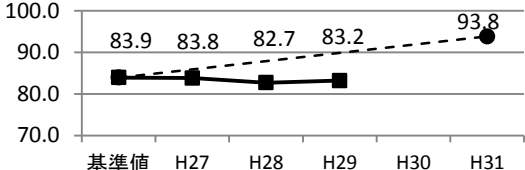
基本目標4 新たな地域社会の形成

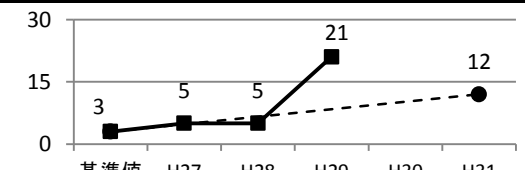
KPI	(58) 自治会、町内会やボランティア活動など市民活動に参加することを心がけている市民の割合							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	36.5	34.7	35.4	37.3			50.0	%
								達成状況
推移の分析・考えられる要因 近年の大雨をはじめとする異常気象の影響から、市民のボランティア意識が高まったと考えられる。								横ばい (-)

(b) 地域づくりの促進

KPI	(59) 市民まちづくり活動支援事業応募件数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	7	9	8	8			10	件
								達成状況
推移の分析・考えられる要因 継続した取り組みにより、制度が定着してきたと考えられる。								順調 (^~^)

(イ) 防災への対応強化

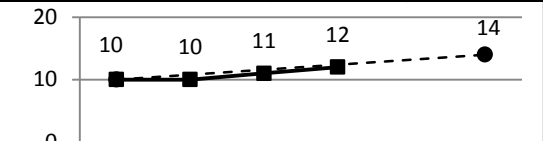
KPI	(60) 消防団員充足率							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	83.9	83.8	82.7	83.2			93.8	%
								達成状況
推移の分析・考えられる要因 人口減少、若年層の減少、被雇用者の増加といった地域社会の状況の変化により、一般団員の加入が思うように進まない状況にある。入団する団員より、定年も含め、退団する団員数が多い。								不調 (>_<)

KPI	(61) 自主防災組織数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	3	5	5	21			12	自治会
								達成状況
推移の分析・考えられる要因 昨年の秋田県での大雨をはじめとする日本全国での異常気象に対し、自治会内における防災への関心が高まり、自治会連合協議会をはじめとする出前講座の実施を通じて、防災意識が向上し、設立数が増加したと考えられる。								順調 (^~^)

基本目標4 新たな地域社会の形成

(ウ) 地域公共交通の維持・確保

KPI	(62) 路線バス等の利用者数																				
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位													
26年度	330,170	326,470	299,488	290,935			330,000	人													
500,000 300,000 100,000 <table><thead><tr><th>Year</th><th>Value</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準値</td><td>330,170</td></tr><tr><td>H27</td><td>326,470</td></tr><tr><td>H28</td><td>299,488</td></tr><tr><td>H29</td><td>290,935</td></tr><tr><td>H30</td><td>330,000</td></tr><tr><td>H31</td><td>330,000</td></tr></tbody></table>				Year	Value	基準値	330,170	H27	326,470	H28	299,488	H29	290,935	H30	330,000	H31	330,000	推移の分析・考えられる要因			達成状況
Year	Value																				
基準値	330,170																				
H27	326,470																				
H28	299,488																				
H29	290,935																				
H30	330,000																				
H31	330,000																				
				人口減少や少子高齢化、自動車の普及により減少傾向が続いている。			不調 (>_<)														

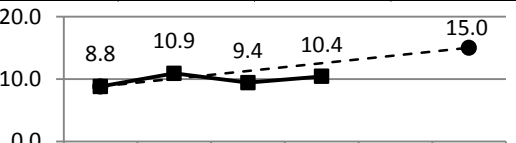
KPI	(63)巡回バスの1便平均利用者数 (市街地巡回バス『はななす号』及び向能代・落合地区巡回バス『しのめ号』)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	10	10	11	12			14	人
				推移の分析・考えられる要因			達成状況	
				はまなす号、しのめ号ともに増加した。利用客の定着、乗換券の利用によるものと考えられる。 27年度 運行便数6,511便 利用者数64,903人 28年度 運行便数6,499便 利用者数70,695人 29年度 運行便数6,492便 利用者数74,622人			順調 (^~^)	

(エ) 若者、女性、高齢者の活躍支援

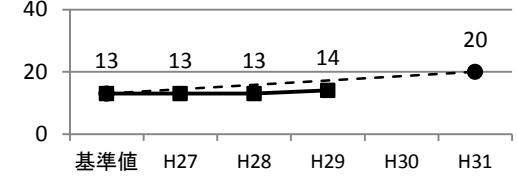
(a) 若者の活躍支援

KPI	(64)市民活動支援センター登録団体数																				
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位													
26年度	56	63	70	74			70	団体													
<table border="1"><caption>市民活動支援センター登録団体数推移</caption><thead><tr><th>年次</th><th>数値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準値</td><td>56</td></tr><tr><td>H27</td><td>63</td></tr><tr><td>H28</td><td>70</td></tr><tr><td>H29</td><td>74</td></tr><tr><td>H30</td><td></td></tr><tr><td>H31</td><td>70</td></tr></tbody></table>				年次	数値	基準値	56	H27	63	H28	70	H29	74	H30		H31	70	推移の分析・考えられる要因			達成状況
年次	数値																				
基準値	56																				
H27	63																				
H28	70																				
H29	74																				
H30																					
H31	70																				
				市民活動支援センターと市民活動団体の連携が図られてきているため。			順調 (^-^)														

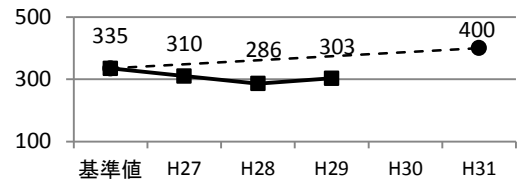
(b) 女性が活躍できる環境づくり

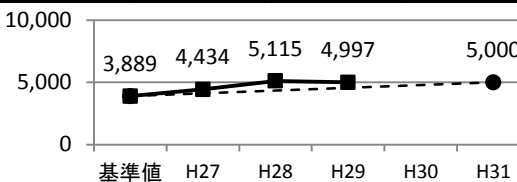
KPI	(65) 性別・国籍などに関わらず、一人ひとりの個性や能力を発揮できる地域になっていると思う市民の割合							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	8.8	10.9	9.4	10.4			15.0	%
				推移の分析・考えられる要因			達成状況	
				年度によって若干の変動があり、男女共同参画都市宣言や関連事業、日本語学習ふれあい交流支援事業、人権擁護活動促進事業等を行っているが、まだ十分浸透しきれていないと考えられる。			横ばい (-_-)	

基本目標4 新たな地域社会の形成

KPI	(66)男女イキイキ職場宣言事業所数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	13	13	13	14			20	事業所
								達成状況
推移の分析・考えられる要因 登録方法が簡易であることに加え、企業のイメージアップにも繋がる一方で、その条件としては女性の能力の登用やワークライフバランスの環境づくり等、意識改革や制度改革を伴うもので、即時の対応が難しい一面もあることから、若干増にとどまった。								横ばい (- -)

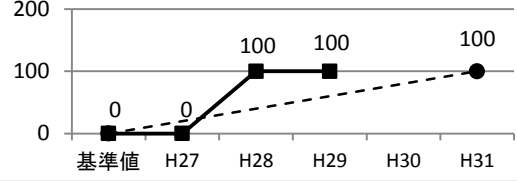
(c)健康で元気な高齢者の活躍促進

KPI	(67)シルバー人材センター会員数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	335	310	286	303			400	人
								達成状況
推移の分析・考えられる要因 新会員入会促進のため、女性限定及び二ツ井地区で出張入会説明会を実施したほか、月2回、定期的に入会説明会を開催したほか、新たに年会費割引制度を設けた。 29年度 入会43名 退会26名								横ばい (- -)

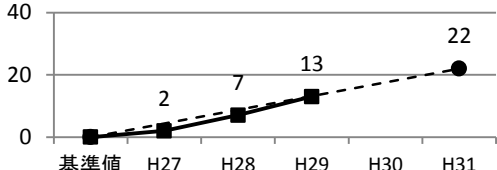
KPI	(68)高齢者の生きがいと健康づくり事業参加者							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	3,889	4,434	5,115	4,997			5,000	人
								達成状況
推移の分析・考えられる要因 趣味講座の拡充により参加者が増え、目標値に対しては順調に推移している。								順調 (^ - ^)

(3)安全・安心な暮らしを守る環境づくり

(ア)既存インフラのマネジメント強化

KPI	(69)公共施設等総合管理計画の策定							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位
26年度	-	-	100	100			100	%
								達成状況
推移の分析・考えられる要因 29年3月に策定済。(計画期間は58年度までの30年間)								順調 (^ - ^)

基本目標4 新たな地域社会の形成

KPI	(70)橋梁長寿命化修繕計画による修繕橋梁数（5カ年累計）																			
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位												
26年度	—	2	7	13			22	橋												
<table><caption>橋梁修繕計画による修繕橋梁数（5カ年累計）</caption><thead><tr><th>年次</th><th>基準値</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr></thead><tbody><tr><td>修繕橋梁数</td><td>0</td><td>2</td><td>7</td><td>13</td><td></td><td>22</td></tr></tbody></table>				年次	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	修繕橋梁数	0	2	7	13		22	推移の分析・考えられる要因		達成状況
年次	基準値	H27	H28	H29	H30	H31														
修繕橋梁数	0	2	7	13		22														
				予定通り順調に推移している。 (29年度は、小掛橋、山内下橋、久喜沢2号橋、 築法師第4橋、山内中橋、鍛冶沢橋)		順調 (^-^)														